

令和5年2月22日

青森県教育委員会第324回臨時会

期 日 令和5年2月22日（水）
場 所 教育庁教育委員会室

会 議 次 第

1 開 会

2 報 告

- 報告第1号 議案に対する意見について …………… 1
- 報告第2号 行政文書不開示決定処分に対する審査請求に係る裁決について …………… （非公開の会議）

3 議 案

- 議案第1号 青森県教育委員会事務局及び教育機関（学校を除く。）の職員の人事について …… （非公開の会議）
- 議案第2号 市町村立学校職員の人事について …… （非公開の会議）
- 議案第3号 県立学校職員の人事について …………… （非公開の会議）
- 議案第4号 青森県教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則案について …… （非公開の会議）

4 その他

- 職員の懲戒処分の状況について

5 閉 会

報告第 1 号

議案に対する意見について

知事から意見を求められた下記議案について、緊急を要するため、青森県教育委員会の事務の委任等に関する規則第 4 条第 1 項の規定に基づき、教育長において臨時に代理し、原案に同意したので、ここに報告します。

記

- 1 令和 5 年度青森県一般会計予算案（教育委員会所管分）
- 2 青森県定年退職者等退職手当基金条例案
- 3 博物館法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例案
- 4 青森県学校職員定数条例の一部を改正する条例案
- 5 青森県立学校設置条例の一部を改正する条例案
- 6 令和 4 年度青森県一般会計補正予算（第 5 号）案（教育委員会所管分）

参 考 資 料

第 3 2 4 回臨時会（令和 5 年 2 月）

- 報告第 1 号
議案に対する意見について

P 1 ~ P 5

青森県教育委員会関係予算案の概要

令和5年度当初予算における青森県教育委員会関係予算額は、**1,190億7,230万8千円**となり、令和4年度当初予算額との比較では、**33億4,920万3千円**の減額、その伸び率は、

2.7パーセントの減となる。

また、国の補正予算関連の令和4年度2月補正予算額は、**2億3,030万9千円**となっている。

(1) 当初予算額 (単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較	
	予算額 A		予算額 B		増減額(A-B)	伸び率
教 育 費 (教育委員会所管分)	119,072,308		122,421,511		△ 3,349,203	△ 2.7

(2) 予算目的別内訳 (単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較		
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率	
歳 入	使用料及び手数料	2,564,513	2.2	2,704,550	2.2	△ 140,037	△ 5.2
	国庫支出金	21,382,156	17.9	21,913,068	17.9	△ 530,912	△ 2.4
	財産収入	204,795	0.2	211,767	0.2	△ 6,972	△ 3.3
	寄附金	4,755	0.1	1,815	0.1	2,940	0.0
	繰入金	801,286	0.6	779,835	0.6	21,451	2.8
	諸収入	237,654	0.2	353,115	0.3	△ 115,461	△ 32.7
	県債	3,218,000	2.7	2,017,000	1.7	1,201,000	59.5
	一般財源	90,659,149	76.1	94,440,361	77.0	△ 3,781,212	△ 4.0
計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7	
歳 出	教育総務費	5,593,513	4.7	5,354,829	4.4	238,684	4.5
	小学校費	39,582,961	33.2	42,686,959	34.8	△ 3,103,998	△ 7.3
	中学校費	25,905,112	21.8	26,933,925	22.0	△ 1,028,813	△ 3.8
	高等学校費	29,301,052	24.6	31,085,591	25.4	△ 1,784,539	△ 5.7
	特別支援学校費	12,569,054	10.6	11,586,369	9.5	982,685	8.5
	社会教育費	3,215,991	2.7	2,401,493	2.0	814,498	33.9
	保健体育費	2,904,625	2.4	2,372,345	1.9	532,280	22.4
	計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7

(3) 課(室)別予算内訳 (単位:千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		前年度との比較	
	予算額 A	構成割合	予算額 B	構成割合	増減額(A-B)	伸び率
教育政策課	89,438	0.1	78,710	0.1	10,728	13.6
職員福利課	98,810,489	82.9	105,224,564	86.0	△ 6,414,075	△ 6.1
学校教育課	1,851,626	1.6	1,720,898	1.4	130,728	7.6
教職員課	83,861	0.1	70,577	0.1	13,284	18.8
学校施設課	12,090,036	10.1	10,535,996	8.6	1,554,040	14.7
生涯学習課	1,532,480	1.3	1,483,564	1.2	48,916	3.3
スポーツ健康課	2,904,625	2.4	2,372,345	1.8	532,280	22.4
文化財保護課	1,683,511	1.4	917,929	0.7	765,582	83.4
高等学校教育改革推進室	26,242	0.1	16,928	0.1	9,314	55.0
計	119,072,308	100.0	122,421,511	100.0	△ 3,349,203	△ 2.7

令和5年度 青森県教育委員会の「施策の柱」

1 確かな学力の向上と社会の変化に応じた学びの推進

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図る。

とりわけ、グローバルな視野や情報活用能力の育成、防災教育の推進など、社会の変化に応じた学びを推進する。

また、幼児期からの教育の質的向上を図るため、幼児教育センターを設置し、関係部局と連携して幼児教育推進体制の構築に取り組む。

新規

県立学校におけるICTを活用した授業づくり推進事業

〔高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業
特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業〕

継続

青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業

継続

小・中学校外国語教育充実支援事業

継続

命を守る！防災教育推進事業

新規

幼児教育の質的向上強化事業【総務部・健康福祉部と連携】

3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境の整備

少人数学級編制について、中学校2年生まで拡充するとともに、外部人材・外部専門家の配置拡充を行い、教員が子どもに向き合う時間を確保し、きめ細かな指導を行える体制の充実を図るほか、小学校教員の確保対策を強化する。

また、いじめや不登校等、支援が必要な児童生徒への対策を強化するとともに、学校施設等の整備・充実に取り組むなど、安全・安心な教育環境の整備に向けた取組を推進する。

拡充

あおもりっ子育てプラン21事業

継続

学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業
(スクールカウンセラー配置・派遣/スクールソーシャルワーカー配置)

拡充

外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業

拡充

学校における運動部活動・文化部活動推進事業
(部活動指導員配置)

継続

学校等における法務相談体制整備事業
(スクールロイヤー配置)

新規

「あおもりで働こう」小学校教員魅力向上事業

新規

多様な教育機会を活用した教育支援推進事業

継続

県立学校施設整備事業

2 地域で活躍する人財の育成及び県内定着の促進

子どもたちのふるさとに対する理解を深め、誇りや愛着心を醸成し、地域で活躍する人財の育成や将来の県内定着を見据えた取組を推進する。

また、特別支援学校生徒の社会的・職業的自立の促進に取り組む。

あわせて、学校・家庭・地域との連携を強化し、地域全体で子どもを育む仕組みづくりに取り組む。

拡充 持続可能な地域づくり「あおもり創造学」プロジェクト事業

継続 青商ビジネスチャレンジwith台湾事業

継続 特別支援学校技能検定事業

拡充 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業

拡充 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業

新規 地域と学校とのパートナーシップ強化事業

4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足の解消に関係部局との連携を強化して取り組むとともに、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりの促進や国民スポーツ大会の本県開催に向けた競技力の向上等を図る。

また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人財育成に取り組むとともに、かけがえのない文化財の保存・活用を図る。

さらに、世界文化遺産となった縄文遺跡群の普遍的価値を次世代に継承するための取組を行う。

スポーツを通じた健康づくり・競技力の向上

新規 県民の未来の健康創造事業【健康福祉部と連携】

継続 「スポーツでみんなを元気に」健康力アップ事業

拡充 競技力強化事業

かけがえのない文化財の保存・活用

新規 「青森の縄文遺跡群」保存・活用事業

新規 「みんなあつまれ！三内丸山遺跡」保存・活用事業

継続 「北海道・北東北の縄文遺跡群」保存・活用推進事業

継続 「地元の縄文」再発見プロジェクト事業

継続 小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業



青森県定年退職者等退職手当基金条例案 概要

1 概 要

国家公務員の定年引上げに準じ、令和5年度から令和14年度までに、本県の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引き上げられることに伴い、引上げ期間中、2年に1度、定年退職者が生じないこととなり、退職手当の支給額が年度間で大幅に増減することとなる。

また、定年引上げと併せて定年前再任用短時間勤務制度が導入され、60歳に達した後、引き上げられた定年に達する前にいったん退職し、これまでの再任用短時間勤務職員と同様の働き方を選択することができるようになるため、退職手当を支給するタイミングが職員によって異なることとなることから、各年度における退職手当の予算額の見込みがさらに困難なものとなる。

定年引上げや高齢期の働き方の多様化に合わせた退職手当の財源確保と、年度間で退職手当支給額が大幅に増減することに伴う県財政への影響を可能な限り少なくするため、青森県定年退職者等退職手当基金を設置し、退職手当を安定的に支給するとともに、各年度の退職手当に係る予算を平準化することにより健全な財政運営を目指すものである。

2 国からの通知

令和4年6月24日付けで総務省自治行政局公務員部給与能率推進室長から発出された通知において、定年引上げ期間中の退職手当の支給について言及があり、基金を活用するなどして退職手当の支給に必要な財源を安定的に確保することとされている。

3 基金への積立額（予算額）等について

- ・ 知事部局、教育委員会及び警察本部の退職手当を合わせて1つの基金に積み立て、知事部局（人事課）が一括管理する。
- ・ 基金積立額は、国が地方財政計画においてR5とR6の退職手当を平準化して歳出を見込んでいることから、同様の考え方で退職手当に要する財源を平準化することとし、

①R5及びR6の退職手当見込額の平均 8,547,646 千円

②R5退職手当見込額 5,656,390 千円

上記差額（①－②）2,891,256 千円を基金に積み立てる。

4 施行日

令和5年4月1日

令和4年度2月補正（国補正予算関連）

国の補正予算に対応して令和4年度2月補正予算において計上した事業は、以下のとおりです。

- ・特別支援学校スクールバス安全装置整備事業 5,250 千円
- ・大規模改修（特別支援学校） 210,309 千円
- ・公立小・中学校等安全対策支援事業費補助 14,750 千円

計 230,309 千円

※当初予算及び2月補正予算（国補正予算関連）の前年度比較

（単位：千円、％）

	令和5年度	令和4年度	前年度との比較	
	予算額 A	予算額 B	増減額(A-B)	伸び率
当初予算	119,072,308	122,421,511	△3,349,203	△2.7
2月国補正予算	230,309	2,670,036	△2,439,727	△91.4
合計額	119,302,617	125,091,547	△5,788,930	△4.6

※増減の主なもの

（単位：千円）

事業名	対前年度増減額	説明
教職員等人件費	△6,276,046	
大規模改修(高等学校)	847,340	年次計画に基づく事業費の増
調査設計(高等学校)	495,839	年次計画に基づく事業費の増
体育施設運営管理事業費	425,755	年次計画に基づく事業費の増
「青森の縄文遺跡群」情報発信拠点施設整備事業費	399,997	年次計画に基づく事業費の増
実習船建造費(国補正関連)	△1,238,610	年次計画に基づく事業費の減
大規模改修(国補正関連)	△1,136,094	年次計画に基づく事業費の減